

令和3年度第1回  
公立大学法人公立ほこだて未来大学教育研究審議会議事録

- 1 日 時 令和3年4月19日(月) 15:00～15:38
- 2 場 所 オンライン開催
- 3 出席者
- 委 員：片桐学長(議長)、川嶋副理事長、平田副学長(理事)、佐藤(任)事務局長(理事)、三上副学長(情報ライブラリー長)、鈴木(恵)副学長(社会連携センター長)、稲村研究科長、木村学科長、佐藤(直)学科長、富永メタ学習センター長、大場システムデザインセンター長
- オブザーバー：白石情報システムコース長、長崎高度ICTコース長、鈴木(昭)教務委員長、迎山学生委員長
- 事 務 局：杉村企画総務課長、佐藤(修)財務・研究支援課長、亀田教務課長

4 議 事

(1) 審議事項

① 大学院資格審査について

- 川嶋人事委員長から、資料1に基づき、1名の大学院資格認定について諮り、原案のとおりに了承された。なお、教員で博士(後期)課程の指導資格が必要な場合は、早めに申請するよう依頼があった。

(2) その他

① 教員の定年退職に向けての引き継ぎについて

- 平田副学長から、今後、教員の定年退職が続くことから、各コースにおいて引き継ぎを円滑に行ってほしい旨の依頼があり、質疑応答があった。片桐学長からも各コースにおいて状況を把握し、次世代へつなげるよう指示があった。

② COVID-19対策会議の位置付けについて

- 片桐学長から、COVID-19対策会議の定例化に伴い、会議の位置付けについて確認があった。川嶋副理事長が当日画面共有資料に基づき、少数の感染者発生に伴う一時的な登校・出勤停止などの緊急を要する判断は学長が決定(必要に応じて役員で審議)するほか、COVID-19定例対策会議では情報交換し、感染レベルの変化に伴う継続的な制限の強化や緩和は拡大対策会議で審議のうえ学長が決定する旨の説明があった。